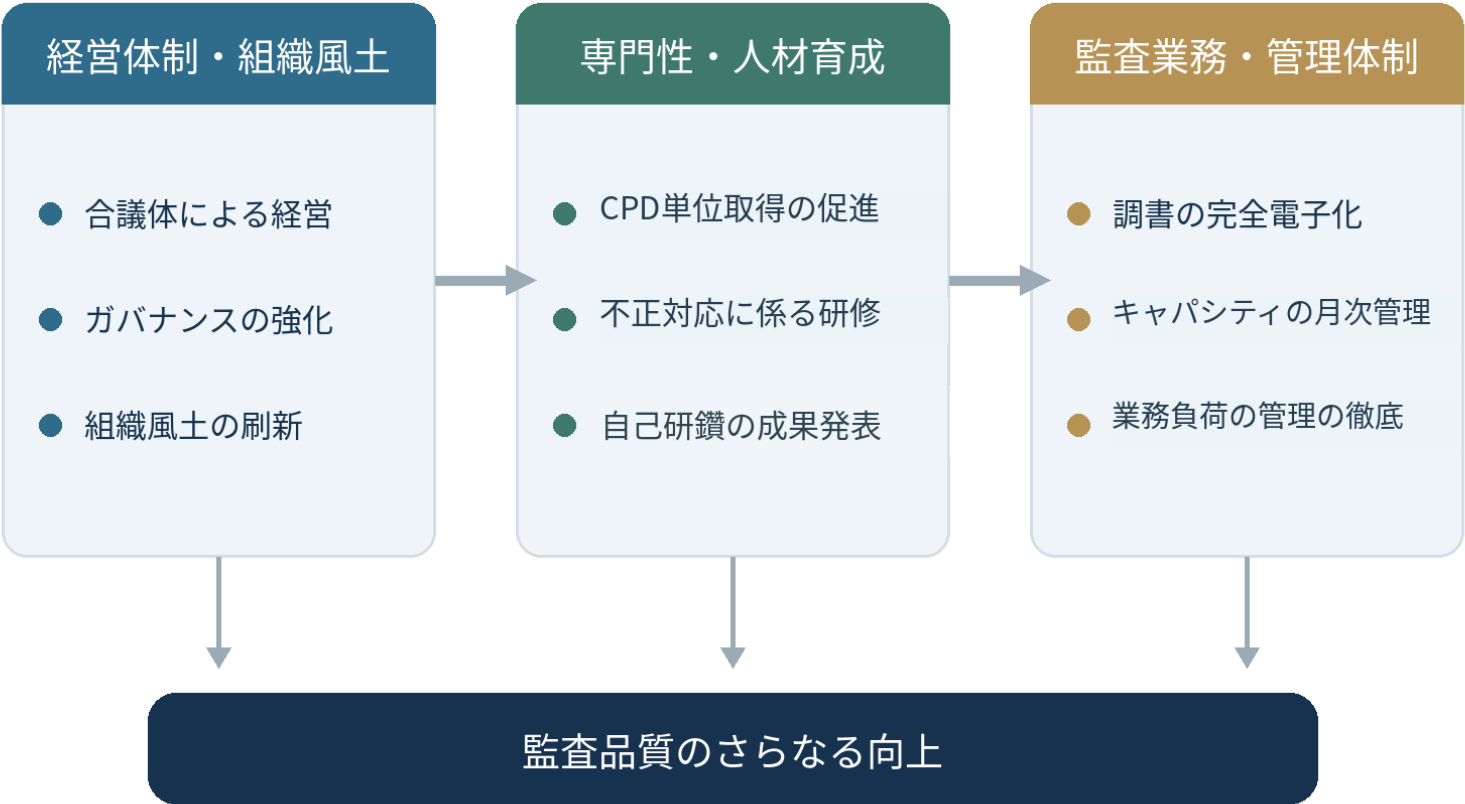


経営体制の刷新及び 監査品質向上に向けた取り組み

2026年10月 | アスカ監査法人

アスカ監査法人は、組織運営の健全性・透明性と監査品質の向上を目指し、経営体制を刷新するとともに、人材育成及び監査業務の管理体制を見直してきました。

取り組みの全体像



これらの領域に対する取り組みを継続し、監査品質の向上につなげています。

主な取り組み

体制・人材・業務管理の各面から、実効性のある改善を進めています。

01 経営体制及び組織風土の刷新

- 法人創業者を事実上解任し、影響力を完全に排除しました。
- 個人に依存しない組織運営を目指し、合議体による経営体制を構築しました。
- 旧大蔵省出身者を顧問として招聘し、ガバナンスの強化に取り組んでいます。

02 専門的能力の向上及び人材育成

- 所属公認会計士のCPD（継続的専門能力開発制度）単位取得を推進しています。
令和7年度の1人当たり平均取得単位数は177単位で、日本公認会計士協会の年間所要単位40単位を大幅に上回りました。
- 不正対応及び正当な懐疑心の醸成を主なテーマとして所内研修を拡充し、令和7年度は年間37回実施しました。
- 自己研鑽を推奨し、その成果発表を行うことにより、学んだ内容の理解度を確認しています。

03 監査業務及び管理体制の改善

- 監査調書を完全電子化し、管理を徹底しています。
- 業務キャパシティを月次でモニタリングし、人的資源の配分と業務負荷の管理を徹底しています。

令和7年度の主な実績

指標	実績	参考
CPD平均取得単位数	177単位／人	年間所要単位 40単位
所内研修の実施回数	37回	年間実績

今後もこれらの取り組みを継続し、法人運営の健全性・透明性を高めるとともに、監査品質のさらなる向上に努めてまいります。